

発言No.

6

受付No. 3

令和6年8月20日

9時14分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 8 番

氏名 川上 幾雄

答弁を求める者
(○をつける)

市長 ○教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 児童生徒の学校生活環境について

(1) 学校生活環境について

- ① 各学校からの営繕要望箇所への対応現状を問う。
- ② 政策における学校環境整備の位置づけを問う。

2 浜田市の公有財産について

(1) 行政財産について

- ① 公共施設再配置実施計画の推進状況を問う。
- ② 公用財産（庁舎等）の更新計画を問う。
- ③ 公共用財産（学校）の更新計画を問う。
- ④ 公共用財産（道路）の更新及び維持計画を問う。

(2) 普通財産について

- ① 普通財産の過去十年間の増減について問う。
- ② 普通財産の貸付状況を問う。
- ③ 普通財産の削減計画を問う。

発言No.

7

受付No. 7

令和6年8月21日

9時 50分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 22 番 氏名 牛尾昭

答弁を求めるもの

(○をつける)

☒ 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 食料安全保障の確保への農業政策について

6月定例会議でも主食米の安全保障について触れたが、市内大手スーパーなどでも米が姿を消し、全国的にも令和の米騒動と言われている。理由の一番は、インバウンドによる外国人客のコメ消費と言われており、新米の出る時期には解決すると政府は言っている。一方で、持続可能な地域社会総合研究所の藤山所長によると、今後10年間で農業従事者は半減するが、浜田市に当てはめてみると、毎年20代、30代合わせて10人の新規就農者が増え、2050年には現在の70%まで回復し、安定するそうである。丁度、今は10年後の地域営農の姿を描く「地域計画」の策定年度に当たる。水稻栽培が危機的な状況を迎える前に、新たに、具体的な目標設定が必要で、それなしには、具体的な取り組みは始動しないと考える。

(1) 小規模農家対策について

- ①6月定例会議では、小規模農家に対する支援として、高額な農業機械購入にかかる何らかの支援を考えていきたいとの答弁があったが、その後の検討状況について伺う。
- ②やむを得ず水稻栽培を断念する場合の事業承継への対策を問う。
- ③どうしても、耕作放棄が避けられない場合は、「再造林にユーカリ活用」という地元紙の記事を読んだ。ユーカリは再造林には向かず、むしろ早成木なので、バイオマスの燃料としての利用や葉については様々な薬効成分が含まれているので、その方面の利用価値があると思うが見解を問う。

(2) 中規模農家対策について

- ①6月定例会議でも述べたが、地元紙の投書欄に「今の米価の状況に較べて農機具、農薬、修理代、部品代が非常に高く、もし主要部分が壊れたら、米代では取り返せません。U・Iターンの方に受け継いでもらえればと期待しますが、米を作っても赤字ではそれも望めません。詰まる所、魅力がないということです」とあった。このコメントの中にヒントを感じたのだが、再度、市としての対策を問う。

(3) 新規就農者増についての目標設定について

- ①藤山所長の見解を参考にすると、今後の新規就農者増についての目標設定が必要であると考えるが、具体的な計画の検討について問う。

2. 訪問介護の基本報酬引下げ問題について

- ①この問題については、6月定例会議において、団体から請願が出ており、私を初め二人の議員が紹介議員になっている。県内の市議会へも同様に請願などが出されているようであるが、対応は様々である。今回の改定は、ケアニュースによると、今回の改定が事業収益に与える影響は、年間で基本報酬分は222万円の減収、処遇改善加算分は144万円の増収となり、計約78万円減収になるとの試算である。この様なやり方は、国が「施設から在宅へ」を打ち出しているのに反して、全国158万人の利用者に危機が訪れようとしている。しかも、2025年には32万人の介護人材が不足する予測の中で、市としての対応を問うとの私の質問に対して、広域行政組合で訪問介護の事業所にアンケート調査するとの答弁であったが、その結果を問う。

3. ゆうひパーク浜田について

8月16日に開催された産業建設委員会において、プロポーザル審査の手法について、委員から様々な意見があった。検討してほしい4つの意見について見解を問う。

(1) プロポーザル審査の手法について

- ①地域貢献の度合いを考え、配点をかなり高くしてほしいという意見について、見解を問う。
- ②実効性担保のために、契約解除条項を加えてほしいという意見について、見解を問う。
- ③貢献度が市民に見え、20年後でも説明責任が果せるようにしてほしいという意見について、見解を問う。
- ④収益還元を「提案を求める」ではなく収益還元を「条件」としてほしいという意見について、見解を問う。

発言No.

8

受付No.

1

令和6年8月16日

16時49分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 18番

氏名 佐々木 豊治

答弁を求める者

☒ 市長

☒ 教育長

☐ 監査委員

☐ 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

☐ 農業委員会会長

☐ 固定資産評価審査委員会委員長

☐ 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 障がい者の就労支援について

障がい者の就労については、法定雇用率が令和6年4月から引き上げられ、さらに2年後にも引き上げられることとなっており、障がい者が活躍できる場を広げていくことが一層重要となっている。

また、企業の側も人手不足の状況になりつつあり、求人も増えるなか、障がい者雇用について企業側の理解も大きくなりつつあることを踏まえて質問する。

①浜田市内の障がい者雇用の状況をどのように把握しているか伺う。

②浜田圏域には自立支援協議会が設立され、そのなかに就労支援部会があり、浜田市も参加し、障がい者の就労が推進されているようだがその内容を伺う。

③企業情報の把握などに関連する産業経済部も部会に参入し、障がい者の就労支援に関わっていく必要があると思うが所見を伺う。

④障がい者への就労についての発信を行うなど、市として協議会への経費支援が必要ではないかと思うが所見を伺う。

2, 図書環境について

(1) 書店の減少による影響について

全国的に人口減少やインターネット通販などの影響により、書店が1店舗もない自治体が増えつつある。県内でもこの状況は進み、書店で本を選ぶ機会や本との出会いの場が失われつつある。

①書店が減りつつある状況から市民への影響をどのように認識しているか所見を伺う。

(2) 学校図書館について

①小学校、中学校の学校図書館図書標準の達成状況について伺う。

②浜田市における学校図書購入費の予算措置と実際の図書購入費について伺う。

③全国的には学校図書購入に対する交付税算定額と実際の予算額に差があるようだが、浜田市の状況を伺う。

④学校図書館の図書の購入先について伺う。

(3) 市立図書館について

① 図書購入に対する市の予算額を伺う。

② 市立図書館の図書の購入先について伺う。

3, 建設業協会との意見交換会について

先日、産業建設委員会で建設業協会の方々との意見交換を行ったところ、協会から、業界の方々にとっては、仕事がこの先もあるとの認識が安心につながるので、浜田市の公共工事について中長期的な計画を示してほしいと言われた。これに関して質問する。

①浜田市は、ハコモノの他、道路、橋梁、トンネルなどのインフラの維持管理について中長期的な計画などを示す「公共施設等総合管理計画」を策定しているが、この計画に沿って、少し先の、特に橋梁などの改修の見通しなどを示せないものか伺う。

②当時なかった河川の浚渫についても近年要望が増えていると思うが、少し先の見通しなどを示せないものか伺う。

4, 带状疱疹ワクチンについて

带状疱疹ワクチンには、「水ぼうそうワクチン」と「带状疱疹ワクチン」の2種類ある。水ぼうそうワクチンは、弱毒化したウイルスを打つ生ワクチンで、予防効果は50%、副反応は低いとされており、予防目的で打つ場合は費用が自己負担で8千円程度かかる。

一方、带状疱疹ワクチンは、無毒化したウイルスを使った不活化ワクチンで、予防効果は90%から97%と高いが、副反応が見られ、2回打つ必要があり、費用は合計4万円程度かかる。

接種費用を助成している自治体が年々増え、現在では、全国で700を超える自治体が助成しており、島根県内でも津和野町と吉賀町が導入している。現在、国においても定期接種化に向けて検討されているところと聞いているので質問する。

- ①浜田市における带状疱疹発症の実態把握をされているのか伺う。
- ②ワクチン接種に関する浜田市での動向を把握されているのか伺う。
- ③市民に対する带状疱疹に関する情報発信と啓発にどのように取り組んでいるか伺う。
- ④ワクチン接種推奨に向けてどのように取り組んでいるか伺う。
- ⑤全国で広がりつつあるワクチン接種費用の半額程度の公費助成制度の導入について、浜田市として検討できないか伺う。

発言No.

9

受付No.

5

令和 6 年 8 月 20 日
17 時 27 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 5 番

氏名 沖田真治

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 商工業における事業の継続・発展と起業支援について

商工業者を取り巻く環境は、少子高齢化や物価高に加え、働き手の確保、最低賃金の引上げ等により、全国的に依然として厳しい状況であり、既存の事業所の経営者の高齢化や収益の悪化に伴い、今後も事業所の減少傾向が続くと考える。

(1) 現状認識について

- ① 商工業者を取り巻く現状認識について伺う。

(2) 事業の継続・発展について

- ① 本市における事業承継の進捗状況について伺う。
② 既存事業所の後継者への支援や育成についての考え方を伺う。
③ 事業の継続・発展における課題と対策について伺う。

(3) 起業支援について

- ① 第2次浜田市総合振興計画、令和7年度起業件数の目標値110件の進捗状況について伺う。
② 女性の起業の状況について伺う。
③ 起業支援における課題と対策について伺う。

発言No.

10

受付No.

13

令和 6 年 8 月 22 日

10 時 10 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 2 番

氏名 村 木 勝 也

答弁を求める者

(○をつける)

☒ 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 浜田市消防団を中核とした地域防災力の充実強化について

(1) 火災通知について

- ① 消防団における火災出動の要領を伺う。
- ② 火災出動が令和 6 年 4 月から「防災無線による出動」から「消防団員へのメール出動」になった経緯を伺う。
- ③ 「消防団員へのメール出動」になったことによる課題はないか伺う。
- ④ 火災通知内容を浜田市ホームページ又はケーブルテレビやアプリで通知する考えはないか伺う。

(2) 消防団員との情報共有のあり方について

- ① 火災以外の災害において、全ての消防団員に参集や待機を指揮命令する方法を伺う。
- ② 浜田市のホームページのサイトに「消防団専用」を開設し、「地震活動計画」や「水防活動計画」等を掲載して共有する考えはないか伺う。
- ③ 消防団員の安全対策や団員募集等の動画掲載等ホームページの充実を図る考えはないか伺う。

(3) 消防団員の安全対策について

- ① 現在、消防団員への安全に係る貸与品を伺う。
- ② 今後、装備を計画又は更新するものを伺う。
- ③ 特に火災時の消火活動における熱中症対策を伺う。

(4) 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」における浜田市の現状について

- ① 第 6 条に規定する関係者相互の連携協力義務における自主防災組織と消防団との連携の現状を伺う。

- ② 第7条に規定する地域防災力を充実強化するための具体的な事業計画の策定の現状を伺う。
- ③ 第14条、第15条及び浜田市総合振興計画にも掲げている「装備・資機材の充実」の現状を伺う。
- ④ 第17条に規定する防災に関する指導者の確保・養成・資質の向上、必要な資機材の確保等の現状を伺う。
- ⑤ 第18条に規定する自主防災組織等の訓練教育において消防団が指導的役割を担うための措置の現状を伺う。
- ⑥ 今後の浜田市における地域防災力の強化に係る消防団の役割を伺う。